

議会要望に対する回答（第13回議会報告会関係）

要望事項(1) JR山田線（宮古盛岡間）の利用しやすいダイヤの実現について

要望内容	宮古市回答
<p>市民が利用しやすいダイヤについて、強い要望がありました。市もJRに対し要望を行っていることは理解しますが、市民が利用しやすいダイヤになるよう、なお一層の取り組みの強化を要望します。</p>	<p>JR山田線の増便やダイヤ改善につきましては、JR東日本に対して、繰り返し要望を行っております。</p> <p>しかし、JR東日本からの回答は、利用状況等を勘案し列車を設定しており、現状では困難な状況であるというものでありダイヤ改善には至っておりません。</p> <p>市としましては、利用促進を図るため、回数券の利用助成やJR山田線のツアーに対する助成を行っています。今後、更に実効性のある利用促進策を行い、利用者の増加をダイヤ改善に繋げてまいりたいと考えております。</p> <p>今後も市議会と協調し、上記に向け取り組んでまいります。</p>

要望事項(2) 閉伊川水門整備事業に係る市民説明会の開催について

要望内容	宮古市回答
<p>閉伊川水門整備事業について、工期の遅れや事業費の大幅増について、市民に対し説明がされていないとの指摘がありました。市から県に対し市民説明会の開催を促すよう要望します。</p>	<p>閉伊川水門整備事業にかかる現在の進捗状況等について、市民説明会を開催するよう岩手県に対し要請いたします。</p>

要望事項(3) 主要地方道重茂半島線の整備について

要望内容	宮古市回答
<p>主要地方道重茂半島線について、現在復興道路として整備が進められています。道路整備計画がない里地区以南について、カーブが多く狭隘な現道の改良整備を早期に進めて欲しいとの切実な要望が2年続けて出されました。</p> <p>市の県に対する昨年度市町村要望では、主要地方道重茂半島線に係る復興支援道路の早期の完成、供用開始について要望が行われておりますが、道路整備計画がない箇所・区間の整備要望はされていません。</p> <p>つきましては、本年度の市町村要望に取り上げることを含め、市は県に対して整備改良の推進を働きかけるよう要望します。</p>	<p>主要地方道重茂半島線は、三陸復興道路整備事業における復興関連道路に位置付けられており、まちづくり連携道路整備事業として東日本大震災津波の浸水区域を回避し、浸水しない道路を整備することによる、災害時等における緊急輸送や代替機能等の確保を目的とし、岩手県において整備が進められております。</p> <p>現在、道路整備計画が策定されていない区間については、狭隘でカーブが多く、安全で円滑な交通が困難であると認識しております。</p> <p>つきましては、地域住民の生活と産業経済活動を支える重要な路線である主要地方道重茂半島線について、整備計画のない区間についても、引き続き整備改良を推進していただくよう、市町村要望に明記し、岩手県に対して要望してまいります。</p>

要望事項(4) ラジオの難聴地域、携帯電話の不感地域の解消について

要望内容	宮古市回答
<p>ハーバーラジオ以外のラジオの電波状況が悪い地区があるので、改善して欲しいとの要望がありました。難聴地区解消に向け、積極的に事業者への働きかけを強めるよう要望します。</p> <p>また、携帯電話の電波状況も悪い地区があるので、改善して欲しいとの要望もありました。市長が携帯電話会社に出向き要望されていることは承知しておりますが、今後も携帯会社と不感地域の解消に向けた協議をするよう要望します。</p>	<p>和井内地区のラジオの視聴環境につきましては、地域から電波の状況を聞き取り、調査のうえ、県と連携して事業者への働きかけを行って参ります。</p> <p>平片・戸塚地区の携帯電話の不感地域の解消については、携帯事業者より該当地域周辺の整備について検討していると伺っております。県と連携を図りながら、整備の実現に向けて取り組んでまいります。</p>